

**KUWV**

**Kanazawa University  
Wandervogel-OB**

**白山・南竜 PW  
2018 年夏**

俺たちや 10年間 通い続けたよ 霊峰白山に



第 10 回 白山・南竜 PW 2018 年 8 月 2 日 中宮温泉 くらゆり荘

**酔っ払いが決めた企画**

白山南竜 PW のきっかけは、2008 年 9 月 14 日 KUWV・OB 総会の二次会で、山村さんが白山南竜ケビン集合を提案したことだった。

酔っ払い集団であったから、簡単に勢いよく満場一致で決定。

**10 年間継続のエンジン役は**

この 10 年間の PW のリード役は、最

初の 5 年間は山村幹事長、その後の 4 年間は伊藤幹事長、そして今年は山村・伊藤両氏の共同幹事長だ。

**俺たちは大いに楽しめた**

白山南竜 PW に集まったのは、『紅顔の美少年』の面影も感じられない高齢者軍団。『登れば仲間に会える』との一念で、風雨にも酷暑にも負けず白山へ。楽しく充実の 10 年だった。

(前列左から)

- 藤井 信晴(8期)
- 村田 泰恵(7期)
- 合津 尚(6期)
- 高水間淑子(8期)
- 山村 嘉一(8期)
- 鍋島 武(9期)
- 伊豫 欣二(8期)
- (二列目左から)
- 篠島 益夫(8期)
- 野村 孝弘(8期)
- 山中 重夫(9期)
- 黒崎 史平(8期)
- 穴田 昭一(8期)
- 伊藤 俊成(9期)
- 白井 勇(9期)
- (三列目)
- 保田 敦(9期)

2018 年(第 10 回) 行動概要 (今年の集中地は 2 か所)		
	南竜集中グループ	中宮温泉集中グループ
7 月 31 日	別当出合から砂防新道経由で南竜へ 6 名	白山麓民族資料館等見学 中宮温泉に集合 7 名
8 月 1 日	①展望コースから御前峰へ 2 名 ②エコーラインで室堂へ 2 名 ③別当出合へ直行 2 名 6 名全員が下山し、中宮温泉に合流	・蛇谷ハイキング 7 名 ・姥が滝 ふくべの大滝など ・新たな参加者 2 名 ・南竜からの下山者 6 名 合計 15 名
2 日	中宮温泉 くらゆり荘にて解散	

## 第10回PWの集中地は 南竜と中宮の2ヶ所

第9回までの形式では、各人がどこから登っても構わないが、白山・南竜に集まってくる方式(白山・南竜集中)を採用していた。

第10回の今年は、①白山・南竜と②中宮温泉の2ヶ所に集中地を設定。

山村リーダーによれば、『各人の年齢や体調などを配慮して2ヶ所に設

定すれば、一人でも多くの仲間が参加しやすくなるのでは』…というネライとのこと。

ネライは大当たり。白山・南竜組は6名。南竜には寄らず中宮温泉にのみの集中者は9名。2泊目は南竜組も中宮温泉に集まり、総勢15名の大盛り上がりのワンゲル談義だ。

## 自称『精鋭組』の南竜グループ 砂防新道を往く

**南竜組 初日** 3つのグループに分かれて、別当出合を出発し、砂防新道を経て、南竜山荘に向かう。

第1グループ 7時30分発 伊豫の単独行。

出発も早ければ、足も速い。南竜到着後に、後続を迎えに甚之助小屋まで下りてきた。現役並みの足腰。

第2グループ 8時30分発 白井、伊藤、鍋島の9期グループ

『ゆっくりが、モットー』。でも後続には甚之助までには追いつかれたい。年齢相応のプライドだ。

第3グループ 9時30分発 合津、山中の二人は東京から同行。それ故チームワーク抜群で快調。甚之助で、9期組に追いついた。健脚だね。



### 『精鋭組』とはいえ高齢者 バテたよ

写真上:8時30分 別当出合

写真下:13時50分 南竜道分岐

別当出合での写真(上)では、『久しぶりの山だが、歩けるかな』とちよっぴり不安感も。

『とにかくゆっくり歩こう』

『休憩も頻繁に』と、山の初心者以上に慎重な足取りだ。

それでも5時間も歩けば疲労感もでて、当然ですね(下の写真)。

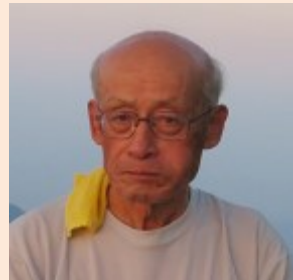
あと30分歩けば、南竜山荘に到着だ。何とかなるだろう。



### My Wandervogel

現在78歳。80歳を過ぎてもひたすら山歩きを続けたい。またフルマラソンと田舎での生活も維持したい。

6期 合津 尚



### My Wandervogel

80歳まで山の花を楽しむみたい。

8期 伊豫欣二



### My Wandervogel

『俺、この稜線が好きなんだ。北岳と間ノ岳を結ぶ稜線。実に爽快な気分になるよ。今秋で80歳になるが、再び来られて幸せ者だ(2024年夏)』…という紀行文を6年後に書きたい。

9期 鍋島武







老体に鞭打ち、花に励まされて、一歩一歩上へ。「お！ きれいだ」と、パチリと一枚。  
 「その花、上にいっぱい咲いているよ」と言って横を通りすぎる中年野郎。  
 『道あけろ』と言いたげ…馬鹿野郎！  
 花で元気づき、お前の一言でがっかり。山登りはつらいね。

今年もやってきましたよ 白山・南竜に。 来年は……



第 10 回 白山・南竜 PW 2018 年 7 月 31 日 南竜山荘

例年のように、白山・南竜に集まってきたのは、上の 6 名だ。自ら『精鋭組』を名乗るが、平均 74 歳かな 75 歳かな、まさにオジン達だ。

別当出合から砂防新道経由で、南竜山荘に到着したときは、『ああ 疲れたな』『よく歩けたな』というのが本音のようだ。

南竜集中者 6 名はちょっと少ないね。2012 年夏(第 4 回目)では 18 名だったが。高齢化で、あきらめざるを得なかった方もいらっしゃるからでしょうね。

**白井さんの声**

山登りを始めて 60 年。今回の砂防新道登りで初めてバテました。それでも、南竜へ行けたのは一緒に登ってくれた俊成さんと鍋島さんの気配りのおかげでした。そして、翌日『白井を一人で下山させるわけには行かない』と、御前峰を諦めて同行してくれた山中さんにも感謝です。

9 期 白井 勇

脚の声…『歩き通したのは俺(脚)だよ。脚に感謝してよ。同期の 9 期の奴らには感謝不要だよ。彼らもバテていたよ。急に俺(脚)を酷使するのではなく、平素からもう少し使っちゃおう。ゴルフ場ではなく、山で使っちゃおう。』

**My Wandervogel**

卒業後、白山の御前峰登頂は一回しかない。体調回復に心がけて、もう一度御前峰登頂を果たしたい。

9 期 保田 敦



**My Wandervogel**

鈴鹿セブンマウンテンへの回帰

今回の南竜PWで体力の衰えを思い知らされました。白山は諦めざるを得ません。今後は、中学・高校時代のホームグラウンド・故郷鈴鹿山系の山道を気ままに歩きたいと思っています。

9 期 白井 勇



山で怖いのは雷かな。いや爆発かな。  
 白山にも、こんな新しい標識が建てられていたよ。